

第3回 浜松市教育研究会 算数科研究部研修会のお知らせ

- 1 日 時 令和7年10月29日(水)
- | | |
|---------|-------------|
| (1) 受付 | 13:30~13:50 |
| (2) 授業 | 14:00~14:45 |
| (3) 分科会 | 15:00~16:30 |

2 会 場 静岡大学教育学部 附属浜松小学校

3 内 容

学年	単元名	授業者	助言者	場所
1年	かたちあそび	高橋 遼平(中ノ町小)	大橋 健一 指導主事	1年1組
4年	二次元表を使って	中村 和樹(広 沢 小)	土屋 淳心 指導主事	4年1組

※ 写真・ビデオ撮影は御遠慮ください。

☆ 本時の目標 (小学校) ☆

1年生「かたちあそび」高橋遼平先生

ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりすることができる。

4年生「二次元表を使って～4年1組の〇〇な人には、どんな人が多い?～」中村和樹先生

自分が予想した「〇〇な人には、～な人が多い」という傾向を調べるために行った、二次元表を用いた分析とその結論について他者とともに考察することを通して、考察で出された意見を基に自分の分析と結論を見直すことができる。

4 持ち物

- 事前に送られる資料、上靴

5 その他

- 今回の役員当番部会は、1・8部会です。集合は13:10になります。1・8部会の先生方には詳細をT-portにて別途お知らせしますので、よろしくお願いいたします。
- 今回は附属浜松小学校と附属浜松中学校の駐車場をお借りします。入口が異なりますので、どちらの駐車場に停めていただくかの案内を後日T-portにて送付します。御確認の上お越しください。

なお、駐車時は児童生徒の移動と重なる場合がありますので御注意願います。

担当 可美小 荒熊 千佳

よくある間違い 5年生「小数のわり算」

浜松市立入野小学校 伊藤 修平

単元の最初、教科書には右のような問題があります。96÷1.6という立式までは、スムーズにいきますが、いざ計算の仕方を考えていくと、式や問題の意味を考えず、わる数の小数を整数にすることだけに注意がいきましまい、右のような間違いをする児童が多いです。貴校の児童の実態はいかがでしょうか。どのような指導をしたらこのような間違いを防げるのでしょうか。

まず、数直線（図）に表して考える方法があります。数直線に表すことで、長さや代金の関係が分かりやすくなります。また、実物を使って考える方法も有効です。実際に1.6mと16mのテープを用意することで、長さの違いを実感を伴って捉えることができます。（16mに関しては、体育で使用するメジャーを使うといいです。）

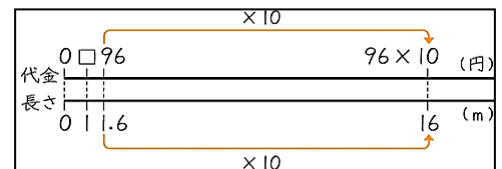
96÷1.6と96÷16の式では、1.6mと16mのリボンの値段を同じものとして考えていることになりま。このように、式の表している意味について考えながら計算していくことで、間違いを減らしていくことができると思います。

問題文の意味、式の表している意味について、常に意識して考えられるように指導していきたいものです。

1

1.6mの代金が96円のリボンがあります。
このリボン1mのねだんは何円でしょうか。

$$\begin{aligned} 96 \div 1.6 &= 0.6 \\ \times 10 \downarrow & \quad \uparrow \div 10 \\ 96 \div 16 &= 6 \end{aligned}$$



学び方を選べるってどうなんだろう？

浜松市立光明小学校 生熊 祥子

算数が好きかという問いに、好きと答えた児童は、27人中6人という結果になった。3年生から始まった理科、社会に人気が集まってしまったのは仕方ないと思う気持ちと、好きな人を増やしたいという気持ちになった。そこで、学習の仕方を選べたら、自分から学びたくなるのではないかと考え、2つの単元で取り組んでみることにした。

「表とぼうグラフ」の単元では、「学ぶグループを選ぶ」ことをやってみた。棒グラフの定義などの基本的なことは全体指導、グラフをかくところはグループで行い、その後の練習問題は一人でいう手順を進めた。グループ学習では、グラフのかき方などタブレットの動画をヒントにして学びを進めた。

「1000より大きな数」の学習では、先生と、友達と、一人で学習するという選択肢を増やした。学習を進めていく中で、必要に応じて変更できるようにした。変更ができることで、教師も子供も学びを振り返ることができた。また、学習の進捗がずれていくという前回の課題に対しては、授業の途中に2回、確認の時間を設けた。単元の終わりに、①「学び方を選ぶことは好きか」の問いには、好き：20人、嫌い7人という結果だった。嫌いな理由として、「進捗が合わなかった」「仲の良い子と話をしてしまってた進まなかった」とあった。②「学習が分かったか」の問いには、「よく分かった」13人、「分かった」10人、「分からなかった」4人だった。単元テストの定着に課題は見られたものの、算数に対する苦手意識が軽減されていたのではないかなと思う。

今後、授業のどの場面でどのように選択できるようにするか、子供自身が自分の学習をどのように振り返って、選択につなげていくかを考えていきたい。そして、算数を学ぶ楽しさを一人でも多くの子供に味わわせたいと思う。



知りたい！ やってみたい！ 思うもんしたい！				
単元「1000より大きな数」9時間 番名前				
学習すること	学習内容	方法	学習のねらい	評価
① 一方の位の仕組みが分かる。② 大きな数が読める。③ 大きな数の大小(番号、不番号)が分かる。④ 数直線が読める。⑤ 10倍、100倍、1000倍、10でわった数が分かる。⑥ 問題を解ける。				
1	この学習のねらいと、自分のやるべきこと。これまでに学んだこと。	学習者	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
2	万の位 1000まで	学習者	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
3	数の大小(番号、不番号) どのくらい多いか	学習者	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
4	つなげる(番号、不番号) P116	学習者	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
5	数直線 一度でどんな数?	学習者	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
6	10倍や10でわった数 P118	学習者	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
7	100倍、1000倍どうなる? P119	学習者	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
8	まとめ	学習者	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	
9	よまの学習内容(番号、不番号) P120～P121	学習者	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	